

+.....+  
【ケアプロ通信vol.96】  
9月度ニュース:KYTを実施しました！  
+.....+

---

いつも大変お世話になっております。  
ケアプロ広報担当です。

日ごとに秋の色が深まってまいりました。お変わりなく、お過ごしでしょうか。

買い物に出かけると  
スーパーでは栗やブドウなどの秋の食べ物がたくさん売り場に並んでいたり、  
行き帰りの道では、  
とてもきれいな曼珠沙華が咲いているのをよく見かけます。  
日々の暮らしの中で秋の気配を感じています。

また、朝晩は気温も下がり運動をするのもちょうどよい季節になりました。  
ウォーキングなどをしながら「心や体の健康づくり」を心がけ、  
秋を満喫したいと思います。

それでは9月度のニュースをお届けいたします。

---

+.....I N D E X.....+

- 【1】代表 川添高志  
日本初、「サッカーナース」KICKOFF！
- 【2】 予防医療事業部  
イベント続々再開へ。
- 【3】 在宅医療事業部  
KYTを実施しました！
- 【4】 交通医療事業部  
ALS(筋萎縮性側索硬化症)の小野さんが、農場へ！？

+.....+

---

+……………代表 川添 高志からのメッセージ……………+

■日本初、「サッカーナース」KICKOFF！ <https://soccer-nurse.com>

ケアプロでは、サッカーイベントとサッカー好きの看護師をつなぎ、  
救護や感染対策に取り組むサービスを開始しました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行の中で、  
医療界のみならず、スポーツ界を含め社会全体での対応が求められています。

サッカーナースに依頼があり、9月から首都圏を中心に  
全国のサッカー大会で、体調確認や救護運営を行います。

サッカーナースは、感染防止策を徹底するための具体的なアクションや  
イベント会場の重点消毒ポイント、ゾーニングなど一緒に考え、計画を立てます。

そして、熱中症を含むスポーツ関連の外傷や事故の発生を予防することで、  
日本の医療体制を守ることに貢献します。

私自身も、小中高とサッカーに明け暮れていたもので、  
仲間や関係者の皆様と、本事業に取り組めることに喜びを感じています。

#### ▼サッカーナースについてのブログ

<https://carepro.co.jp/blog/6522/>



+……………予防医療事業部長 鈴木 沙由梨からのメッセージ……………+

イベント続々再開へ。

9月に入り、続々と健康イベントを再開しています。  
イベント毎に感染対策を工夫して行っています。  
イベント数が増え、スタッフ増員のための研修もはじまりました。  
また、健康セミナーも行っています。

今回ご依頼いただいたオンライン上の健康セミナーフェスでは、様々な専門家が入れ替わりに健康経営に関する情報を提供していきます。

ケアプロからは医療資格を持った専門のスタッフが登壇。  
聴講者にその場で体力測定を行い、自身のレベルを知ってもらうことで、  
運動することの大切さを伝えていきます。

今後も健康チェックにとどまらず健康に関するセミナーイベントも多く実施し、  
多くの方が健康のサイクルをしっかりと回せるような支援をしていけたらと思います。



+…………在宅医療事業部長 金坂 宇将からのメッセージ……………+

KYTを実施しました！

ケアプロ訪問看護ステーション東京では2018年の7月から委員会活動を導入し、各ステーションから委員会メンバーを招集して、現場課題について解決策を議論して取り組んでいます。

今回は、医療安全委員会が、KYT(危険予知トレーニング)に取り組みましたので紹介させていただきます。

KYTは現場でのヒヤリハットを防ぐ目的で、写真やイラストから、その行為に潜む危険と、それが引き起こす事故について意見を出し合い、予防と対策の視点を培うことを目的とするものです。

事前に実際の利用者様の家の様子やケアの一場面の写真や動画を撮影し、それを見ながらカンファレンスで危険な箇所がないか対策として何が必要かについて議論を行いました。

実際の画像を用いることでより現場をイメージしやすくなり、活発な意見を出せる機会になりました。また、議論する中でお互いの視点が共有され、それぞれの予防と対策についての視点が広がったようです。

こういった活動の積み重ねが質の向上には必要ですので、引き続き、こういった現場主導での活動を継続していきたいと思えます。

## Let's KYT!!!

  
**危険 予知 トレーニング**  
**K Y T**

- ・もともと産業界で使われていた言葉で、作業の中に潜む危険について話し合い、予知と対策を行う訓練を指す。
- ・医療界でも取り入れられ、医療安全を目的とした現場のリスクセンス(危険への感受性)向上と事故防止のために行われている。



**「この方orお家のここ危なそう！」**  
を予測する力を身につけ事故を予防しようということです。

+……………交通医療事業部長 川添 高志からのメッセージ……………+  
ALS(筋萎縮性側索硬化症)の小野さんが、農場へ！？

小野さんは、ドコケアを利用して、顔なじみの看護師らと、農場に外出しました。  
写真は、田園の大浴場にいるかのように、気持ちよさそうな小野さんです。



小野さんは、学生時代に生活共同体向志朋に所属して  
農業をしながら大学農学部へ通っていました。

そして、仲間は卒業後それぞれの道へすすみ、  
およそ40年がすぎて、定年をむかえた先輩たちが  
新向志朋を設立したというのです。

小野さんも、この設立したNPO法人の会員でもあり、  
久しぶりに仲間と農場で再会しました。

ドコケアのギフト企画の申込はこちら

<https://dococare.com/news/334/>